

## 緑のまちあれこれ

- 本体の台風はそれたものの、その余波での関東東北大豪雨。鬼怒川が常総市で破堤し大洪水の被害が出た。鬼怒川は江戸川の上流でもあり、市川でも春木川や国分川の増水で下流の真間あたりでは浸水被害があったようだ。江戸川の堤防は完備されているかも知れないが、戦争中から戦後の補修予算後回しで、道路や橋、トンネルなどと同様に堤防の予算も充分ではなかったとすれば、これからが心配だ。
- 今から50年ほど前、市川松戸線のバス通り（これは県道1号である）あたりがもっとも賑やかな商店街だった。下矢切は松戸市で、愛宕神社から先が市川市。北国分は1丁目から4丁目までで、高台の畑の地区は北国分町だった（のちに堀之内になる）。北国分にはいまも交通信号がひとつもない。車が通れる大きな道が少ないからだ。北総鉄道の駅が出来、畑だった権現原が開発されると、道路が整備され家が建つようになって、まちの中心は、完全に堀之内地区に移ってしまった。北国分の象徴は小塚山で、禅照庵が町会事務所になっているが、われわれは小塚山研修所をもっぱら利用している。道免き谷津と堀之内貝塚がもうひとつのまちの財産。この道免き谷津に外環道路が通り小塚山が破壊されることになって、計画路線は変えられなかったが、みんなで陳情してともかくトンネルを通すことになった。小塚山での森の音楽会も、バードウォッチングも、「緑のまち」も、小塚山を守ることが原点になっている。
- 安倍内閣は第二次三本の矢のひとつに、一億総活躍というスローガンを掲げた。戦後の人は知らないだろうが、戦時中を生きてきた人間には、一億総動員、一億総玉砕という、軍部のスローガンが思い起こされ、維新の党などのイメージとともに戦争中を思い出させて肌があわ立つ。



(N)

■編集後記■ 今号の「私は戦争を忘れない」は、1丁目の小野さんにお願ひしました。呐々（とつとつ）とした文章で、表記もできるだけ元のままにしました。総会の報告などでも触れておりますが、これからの北国分のあり方をみんなで考えて、話し合っただけだと思ひます。

# 緑のまち

—北国分だより—

第115号 2015.10.15 発行



編集 北国分外環対策協議会  
市川市北国分 2-29-12 越田方  
Tel 047-372-8936  
www.midorinomachi.net

## 第45回北国分外環対策協議会総会の報告

佐々木 陽子

7月26日（日）45回目の総会が、小塚山研修所で行われました。当日は、18名の方々が参加して、昨年度の活動報告や決算、そして今年の活動計画について話し合いました。

議題に入る前に「緑のまち合唱団」が日頃練習している歌2曲（広い河の岸辺ほか1曲）を歌いました。合唱団の指導をさせていただいている新谷みゆきさんのピアノ伴奏に合わせて歌声を響かせました。議事に入り、昨年度1年間の活動報告と決算報告がありました。おもな活動は「緑のまち」の発行年4回、バードウォッチング年3回、市川・松戸外環連合の会議出席（毎月一回）でした。

今年度もこれらの活動は引き続きやっています。

昨年度休止した「森の音楽会」について、今年度はどうするかを話し合いました。今年5月貴重な野鳥が小塚山に巣をつくり、産卵し、ひなが巣立っていきました。来年5月も同じ場所で巣づくりをする可能性が大きいので、自然を守るという事では5月にやるのは無理ではないかという意見に対して、多くの人が森の音楽会を楽しみにしているのだから、なんとかできないのかと意見もでました。結果、来年は秋に開いたらどうかということになり、森の中の様子などをみながら準備を進めて行くことになりました。

外環連合の高柳俊暢さんが、最後に外環道路の現状と問題点について話されました。特に騒音に関して、住民の受忍限度を超える騒音が起きる可能性が大きいので、供用開始を差し止める申し立てを国と東日本高速道路会社に対して行う計画をしていることが話されました。

役員については引き続き同じメンバーで取り組んでいきますので、よろしくお願ひします。

## 記念の日

北国分1丁目 小野 てる子

毎年八月十五日は、私にとり複雑な日である。私は人には云わないで来たが、玉音放送を全く聞いて居ませんでした。

思いを馳せると、その日は暑苦しい一日でした。夏休みはいつも母の生家のある紫波郡(岩手県)という所に泊まりに行き居ました。大きい農家の涼しさが大好きだったし、72歳になるおばあさんと暮らせることが嬉しかった。風通しの良い縁側で針仕事をして居るおばあさんに、針に糸を通して上げながら、母の小さい時の話を聞いた。戦争に征って居る息子の嫁さんと孫といつもにぎやかなのに、その日はみんな重大なラヂオ放送が有るということで、近くのお寺様に出かけて、静かなお盆でした。毎晩警報が鳴る様になって、おばあさんは長生きをして来て色々な事に廻り合って来たこと、出征して居る息子のことをいつも悲しそうに話していました。二人で昼のおにぎりをたべて帰ることになった私におばあさんは大きい手縫い袋に入った重い物をくれました。お金でした。それはみな50銭銀貨でした。お嫁に来てから72歳までのへそくりだったと云う。「勉強して良い子になれよ」と云って、にっこり笑って渡してくれました。

自転車の後ろのかごにお米やカボチャを積んでもらって帰ろうとしたら、お寺の方からピーピーと大きなラヂオの音がして居たなあ…。外へ出て自転車を漕ぐ私の足は、もはや男の人と同じ位の力で走り始めました。農道を抜けて国道4号線に出て、家を目指して走りました。帽子もかぶらずタオルを首に巻いて居たけれど汗が滝の様に流れました。暑かった。15歳の私にとり、こうすることが親孝行であり、兄弟愛でした。食糧もなく鍋釜まで集める日本の国。4号線の松並木を見ると、みな掘り返され、赤い根がむざんに横になって日陰など全くない。松からとる油で飛行機が本当にとぶのだろうかなどと考え乍ら走っていました。「あれ！ 変だな」と思ってブレーキを掛け乍らあたりを見廻しました。トラックが来ない。バスも走らない。まして人には全く逢わない。子供の私にも世の中どうにかなったと感付きました。急に家のことが心配になり、4里のみちのりを走り、急いで家が見えた時のほっとした気持ちを今でも忘れません。隣組の人が私の家に一杯集まって、父が手を振り乍ら話して居るのを見た時、自転車をのり捨てて父にしがみついて、わけもなく、わんわん泣いて居ました。

「戦争が終わった。日本は敗けた」と云う人々の声に事態がようやく解り、改めて泣いていました。負けても勝っても子供の私には戦争が終わったことの喜びに腹の中から泥を吐き出した後の心のゆるむ思いでした。足の痛いのも腰の痛いのも忘れませんでした。夕食の後、

これからの日本について色々父から話してもらい、戦後の困難など何も考えず、「終わったのだ、戦争が終わったのだ。学校で勉強ができるのだ。勤労奉仕がなくなるのだ」と子供なりに何遍もくり返して自分に云い聞かせて居ました。子供で有り乍ら子供らしい生活の出来ない時代に育った私でした。



## 党派を超え一致団結で廃案に

安全保障法案の廃案を求める市川市民集会に参加して

菅野 順子

今年7月「安全保障法」は、衆議院で強行採決されました。「立憲主義・民主主義とは?」、「なぜ安倍内閣はこの法案を急いで決めるのか?」参議院で審議が行われるなか、9月6日「安全保障法案」の廃案を求める市川市民集会に参加しました。

大洲公園には3団体共同主催による「安保法制に反対する県議(3人)、市議(14人)の会」、「九条の会 市川」、「戦争をさせない1000人委員会・いちかわ」のよびかけで、550名以上の方々が集まりました。

県議代表プリティ長島議員、市川市議代表越川議員、「国民の命や生活を守る議員の使命として廃案させるために頑張る。子供や孫の未来のために党派を超えて平和のために一致団結したい」という内容の発言でした。また女性弁護士より「この法案は国民の生活を破壊するものだ」、「国民の個人としての権利を保障し、立法その他の国政の上で最大の尊重を必要とする」憲法13条を国が奪い取るものだ」と、指摘されました。

集会後は、会場から市川駅まで、市民に向けてのアピールと、行進を行いました。

日本国憲法は昭和21年11月3日に公布、翌年5月3日に施行されました。この憲法は、70年前、敗戦で多くの犠牲者を出し、先人たちがもう二度と戦争をしない国として、守り続けてきた憲法です。第九条「戦争の放棄、戦力及び交戦権の否認」、立憲主義・民主主義の理念を次の世代に伝えて、安保法案(戦争法案)をみんなの力で廃案させましょう。

# こうのだい九条の会

## 「秋の文化展」のお知らせ

里見公園の紅葉が深まるころ、「秋の文化展」を開催します。

「憲法9条のもとでは、海外での武力行使は許されない」としてきた従来の政府見解を覆し、9月19日未明に安倍内閣は国民多数の声を無視して、安保関連法（戦争法）を強行し成立させました。

こうのだい九条の会は、「守ろう9条、武力で平和はつくれない」の思いで、2008年から地域で活動しています。文化展は会の趣旨にご理解をいただいた方々の作品（絵画、写真、書道、手芸、陶芸、俳句、絵手紙など）を展示します。「緑のまち」をご覧のみなさまにもぜひ出品をお願いします。締め切りは11月24日（火）です。下記までご連絡ください。会場が少し遠いのですが、どうぞみなさま、お気軽にお出かけください。

日 時: 12月3日（木）～12月7日（月）11時～16時

最終日は14時30分まで

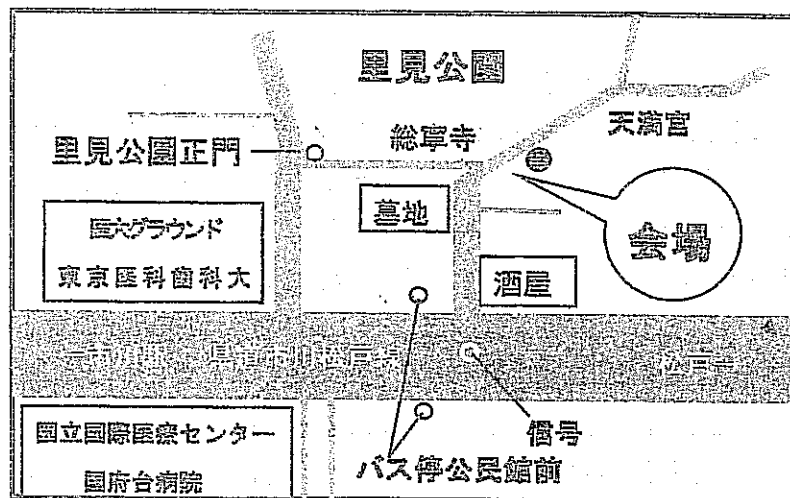
会 場: SPACE SONO（スペース ソノ）

市川市国府台 3-11-9 バス停公民館前より徒歩8分

駐車場はありません

主 催: こうのだい九条の会

出品のお問い合わせ 松林 (375) 2925



# 市川の俳人たち III

三 好 ひろし

今年もあと三か月足らずとなった。年をとると時間の過ぎるのが速いという。まったくそうだ。かく言う私も八十五歳。「人生二十年」と思い定めていたのに敗戦……。永い「余生」に恵まれた。あの戦争で生命を落とした数百万の人たちを思うと、生きている限り、現在の平和を大切にしたい思いでいっぱいだ。艦砲射撃、機銃掃射、焼夷弾の雨、原爆投下。戦後も焼跡、やみ市、食糧難、買い出し……。多くの苦難を経てこの七十年間、オリンピックの聖火のように受け継ぎ守ってきた平和である。戦争の実際を知らない暴走族内閣のほしいままにさせてはなるまい。

<息白く書き遺すべき手温む 平松小いとど> 戦時下の俳誌「ホトトギス」に載っていた句である。こんな俳句を二度と作らせない、作らない。新憲法を受け取った日の感動を新たにしつつ、この稿を終わりたい。



- |                  |       |
|------------------|-------|
| 零歳を送る小春の国際線      | 青山 克子 |
| 泥葱のどさつと置かれ一茶句碑   | 石川 経子 |
| 桜木は兵幾万を死なしめし     | 稲島 帯木 |
| まさかりの様な鳶くる冬の滝    | 井上 信子 |
| 春節の地下水を飲む地虫たち    | 伊津野 功 |
| 蓑虫や夕日吊られぬることし    | 上田日差し |
| 吉野葛溶くやほぐるる花疲     | 大網 信行 |
| 黄沙降る野末の石といふがあり   | 榊原希伊子 |
| 誰かれの声遠くなる雪夜かな    | 高久 清美 |
| 枇杷は黄に漱石先生ポンプ押す   | 武田 伸一 |
| 星飛ぶや女の羽化はタラップで   | 千田 百里 |
| 役終へし佃の渡し木の芽雨     | 中路 素童 |
| 新涼の背もたれ高き木椅子かな   | 中野あぐり |
| 明る過ぎても見えぬ老の目雁渡し  | 淵上 千津 |
| 村の子に似たるかたかご咲きにけり | 宮崎 夕美 |
| 行く水の音かさなりて春夕べ    | 山崎 靖子 |
| 牡蛎する地球に瓦礫また瓦礫    | 山下知津子 |
| 天上に風つものらし星月夜     | 渡辺 昭  |
| 薔薇白し在すごとくに席設け    | 和気久良子 |

## マイナンバー制度とは

最近わけのわからないことが急速に増えてきている。御嶽山や箱根や桜島の火山の噴火は自然現象だからしょうもないが、TPPとか、安保総合法とか、一億総活躍だとかいわれると、いまの政府は何を目指そうとしているのか、行く末に不安を感じる。

なかでもマイナンバー制度というものについて、どれほど国民の理解が得られているのだろうか。国民ひとりひとりに番号を振り当て行政の事務効率をあげるための制度とされるが、いまのところ、氏名・年齢・年金・医療保険と納税金額を、コンピューターで一元的に把握することを目ざしているようだ。

10月中にはそれぞれのマイナンバーが国から通知され、写真を添付して市役所に送り返せばマイナンバー登録カードが作成されるという。

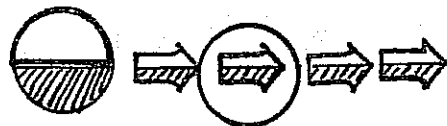
政府は消費税値上げに、国民のすべてに最も密接なかかわりがあるこのマイナンバー制度を直結しようとしているとか。国会でまだ議決されたわけではないが、こんなことをされたら本当に大変なことになる。スーパーのレジで打たれたレシートをスーパーコンピューターで解析すれば、その人が、いつ、どこで、なにを買ったかがすべて明らかになる。いまなにがどれだけ売れているか、これからの生産計画にまで及ぶ最も実的な生のデータ、これは企業が喉から手が出るほど欲しがっているデータなのだ。それが、低所得者の消費税還付金という名目で、消費税とマイナンバー制度をつなぎとめようとしている。

サラリーマンの給料は、今はすべて口座振込みになっている。事業者は給料払い込みの際、支給者の氏名・住所・年齢と関連して、個人確認のためにマイナンバーを登録させるといふ。大企業はともかく、中小企業の事務所や商店で、個人のそれぞれの正確なマイナンバーが保持される保証はあるかどうか。個人情報流出は、経済社会では最大の犯罪である。いくら歯止めが掛けられたとしても、犯罪のプロはその規制を上回る悪知恵を働かせて利益をむさぼる。オレオレ詐欺とは比べものにならない大きな範囲の被害が明らかに予測される。

マイナンバーが行政の利便さのために設けられるのなら、その行使される利用範囲は最も厳しく抑えられなくてはならない。年金庁の苦しいきさつもある。消費税還元という名目のために、スーパーのレシートだとか、銀行口座とかが把握されるような機構と結びつけることだけは、絶対に許してはならない。

(K. N.)

2015.10.9



## バードウォッチングのお知らせ

(雨天中止)

平成 27 年 11 月 29 日 (日)

平成 28 年 2 月 21 日 (日)

平成 28 年 4 月 29 日 (祝)

午前 10 時、小塚山あずまや集合。  
じゅんさい池までゆっくり歩きながら  
野鳥を探します。参加をお待ちしています。



案内人：村岡幸生さん (日本野鳥の会会員)

\* 有れば双眼鏡、メモ帳をご持参ください



## 「緑のまち合唱団」のお誘い

外環道路から小塚山の自然を守ろうと始まった運動から生まれた合唱団です。

月 1 回第 3 土曜日午後 1 時半より 3 時半まで、小塚山研修所で元気に歌っています。今は「広い河の岸边」「野に咲く花のように」「スイカの名産地」など、美しい歌を歌っています。歌の好きな方、歌ってみたい方、是非ご参加ください。お待ちしております。

歌の指導とピアノ伴奏は新谷みゆきさんにいただいています。

連絡先：佐々木 TEL 371-9528

